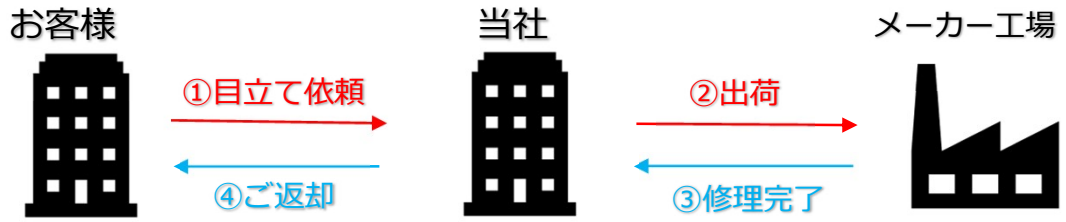
丸鋸刃の管理・メンテナンスについて

丸鋸刃購入後、スライサーに装備し稼働を続けますと
経年劣化によるチップ欠損が発生したりします。
そのため、定期的なメンテナンスの実施を推奨しています。
メンテナンスにはまず丸鋸刃を当社に送って頂き、当社からメーカーへ出荷します。
メーカーによるメンテナンス、チップ欠損の状態確認、チップ交換などを経て
当社に戻ってきますので、その後お客様の元に返却する流れを取っております。



目立て依頼の鋸刃が当社に着いてから修理完了品をお客様へ返却するまで
約２か月の納期を頂いておりますので、予備の鋸刃を購入されることをお勧めします。

全ての丸鋸刃にはシリアルナンバーが刻印されており、
当社では丸鋸刃１枚１枚をすべてシリアルナンバーで管理、記録しております。
ドライアイス切断性能維持のため、目立て回数が５回を超えた丸鋸刃に関しては
新品を購入されたほうが性能的にもコスト的にも良く、目立て回数５回を目処に
新品へ買い替え頂くことを推奨しております。

目立て目安 ： 50,000～100,000個毎(10kgブロック)
カットロス ： 10kgブロック 10枚スライスで 6.5% (標準刃で)
※ ドライアイスの寸法により値は異なります